



東京都議会議員

渋谷区選出

中田 たかし

東京都議会立憲民主党

1989年(平成元年)9月生まれ35歳。駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了。

ながつま昭衆議院議員の元公設秘書。2019年4月に渋谷区議会議員、2021年7月に東京都議会議員当選。

政務調査会副会長、経済・港湾委員会理事を歴任。現在、総務会長、都市計画審議会委員。警察・消防委員会副委員長を歴任。

令和7年東京都議会 第1回定例会の報告会を開催します!

都政報告会を開催します。都議会では現在、第1回定例会が行われており、来年度予算案の審議が行われています。その予算の審議過程等について、ご報告します。私たち都議会立憲民主党は、地域の小さな声に耳を傾ける、ボトムアップの政治を行って参りますので、日々の地域でのお困りごとなど、ご相談ください。

質疑応答の時間も設けていますので、お気軽にご参加いただき、ご意見・ご要望をお寄せください。皆様のご参加をお待ちしております。

都政報告会

日時

令和
7年

3月31日月

18時30分～19時30分

場所

氷川区民会館

住所／渋谷区東 2-20-18



途中からの参加や途中退席も自由です!

- 渋谷駅から 徒歩 9 分
- 都バス「渋谷車庫前」 徒歩 5 分
- 都バス「東二丁目」 徒歩 5 分

裏面につづく

ハサミでお切り下さい ✂

郵便はがき

1 5 1 - 8 7 9 0

278



料金受取人払郵便

代々木局承認

3672

差出有効期間

令和 8 年

7 月 24 日まで

切手を貼らずに
お出しください。

キリトリ ✂

東京都議会議員
中田 たかし 行

渋谷区笹塚2-11-1
Y・S KOMATSUBIL
101



中田たかし事務所

〒151-0073 渋谷区笹塚2-11-1 Y・S KOMATSUBIL101

〒150-0044 渋谷区円山町26-7 TKフラッツ渋谷1201

TEL&FAX 03-6884-0200 携帯電話 080-7383-8474

✉ takashi@nakada.info 🌐 https://www.nakada.info/

都議会
立憲民主党



中田たかし Q

デフリンピックの開催

東京でも開催され、多くの方がご存知のパラリンピックですが、実は聴覚障害の区分が存在しません。

聞こえない方々にとっては、さらに長い歴史を持つ「デフリンピック」が、単独の大会として開催されてきたからです。日本は1965年から参加しており、近年は多数のメダルを獲得しています。

デフリンピックには、陸上やサッカー、水泳やテニスといった競技があり、ルールはほぼオリンピックと同じですが、スタートの号砲や審判の笛などが聞こえないことから、光や旗などを用いた視覚的保障が欠かせません。短距離走では、緑色のランプでスタートを伝えます。

応援をする側も、拍手は届かないため、手をヒラヒラさせる手話や、床を踏む振動で称賛を伝えるなどの方法を用います。

そのデフリンピックが100周年の節目を迎え、今年11月には日本で初めて、この東京で開催されることが決定しており、着々と準備が進んでいます。認知度がまだ低いことが課題であり、都はイベントや広報などを通じて周知に取り組んでいます。



都政で関心のある政策項目を教えてください。

当てはまる項目を☑してください。

- | | |
|----------------------------------|--|
| ☐ 子育て・教育 | ☐ 環境・エネルギー |
| ☐ 福祉 | ☐ まちづくり |
| ☐ 健康・スポーツ | ☐ 文化・エンターテインメント |
| ☐ 防災 | ☐ その他 |

都政に求めることがあれば具体的に教えてください。

よろしければ、ご記入ください。(無記名でも結構です)

お名前

年齢 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80代 ☐90代～

ご住所 渋谷区

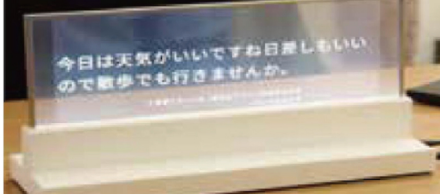
電話 FAX

メールアドレス

切手を貼らずに、そのまま郵便ポストに投函してください。

共生社会の実現

音声を多言語で表示する
透明ディスプレイ(東京都HPより)



スポーツ大会としてのデフリンピックの成功はもちろんですが、ろう者の文化や課題を社会に理解してもらい、共生社会への歩みを加速させることが、最も重要な点です。

このため、都は「ビジョン2025アクションブック」を定め、インクルーシブなまちづくりの指針を示しています。具体的には、国際手話人材の育成や、民間と連携したユニバーサル・コミュニケーション技術の開発および機器の導入支援、都立施設のアクセシビリティ向上などの取り組みによって、「いつでも・どこでも・誰とでも」つながる東京を目指すとしています。

このため、都は「ビジョン2025アクションブック」を定め、インクルーシブなまちづくりの指針を示しています。具体的には、国際手話人材の育成や、民間と連携したユニバーサル・コミュニケーション技術の開発および機器の導入支援、都立施設のアクセシビリティ向上などの取り組みによって、「いつでも・どこでも・誰とでも」つながる東京を目指すとしています。

手話言語条例

ろう者の文化の中でも、手話は一つの言語として捉えるべきものであり、日本のろう学校では長らく手話が禁止されていたという悲しい歴史を踏まえても、その理解を広げていくことは極めて重要です。

そこで都議会では、超党派のチームで議論を重ね、議員提案で「手話言語条例」を制定しました。

なお、都議会は現在さらに一歩進んで、あらゆる情報・コミュニケーションの保障を目指す条例の制定に向けた議論を、超党派で行っており、夏までの制定を目標としています。

この超高齢社会、視覚や聴覚などの問題は、誰にでも起こり得るという認識を共有したうえで、情報の取得や意思疎通の手段を確保できる社会を目指すべきと考えています。



東京都議会定例会の日程

令和7年 第1回定例会 **2月19日 水 ~ 3月28日 金**

詳しくは、東京都議会HPをご確認下さい。
<https://www.gikai.metro.tokyo.lg.jp/>
TEL.03-5320-7126



皆様の都政へのご意見・ご要望をお気軽にお寄せください!

中田たかし事務所

笹塚事務所 〒151-0073 渋谷区笹塚2-11-1 Y・S KOMATSUビル101

円山町事務所 〒150-0044 渋谷区円山町26-7 TKフラッツ渋谷1201

TEL&FAX 03-6884-0200 携帯電話 080-7383-8474

E:mail takashi@nakada.info



中田たかし